



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>

第23号（平成20年7月）



葦あやめ ザリガニとりの こえたかし

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 石川 維雪
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷5-32-31 学燈塾内
TEL:03-6680-6542 FAX:03-6368-5489
Mail:center-office@shijuku.net

理事長 鈴木 正之
03-5743-7458
広報部長 大住 明敬
048 - 957-8608

新生・私塾ネット関東 5月定例研修会 関東「仲間」大学開講（興学社大学ダイジェスト版）

仲野十和田新代表就任後初めての研修会が、5月25日、ナカジユク板橋本校を会場に開催された。午後1時開講で7時まで6時間びっしりの講義が続いたが、充実した内容で時間が経つのを忘れるようだった。内容は川崎市に本社をおく大手進学塾興学社の池田代表が主宰する「興学社大学」の縮小版である。以下は調布学園須永先生が池田代表の講演の要旨をレポートしたものである。

[興学社学園の特長と人材育成]

<1> 興学社の伸張の鍵

- ・人生は、出会い「縁」と「運」。
- ・夢・実現力を持たせる。
- ・イベント力を高める。
- ・実践力を身につける。
(3週間ある特定の目標を公言して実行すると身につく。)
- ・英会話は、今後も伸びる分野。
(公立小学校の英語教育はうまくいかないから。)

<2> 若手講師の育成

- (1)現代青年の特徴 未熟(無自覚) 社会体験学習が乏しい 現実感覚が無い 悩む力が無い(問題意識の欠如) 自己愛(自己中心が多い) 小児的万能感 公德感の欠如 生き甲斐の喪失 人間関係の構築が下手 依存的無気力

- (2)魅力ある職場造り・・・ ビジョンと志を明確に打ち出す。プライドをスタッフに持たせる。 My School作り(一人前の登竜門) 業績評価基準の明確化 研修制度の充実(「正社員になりたい」と思わせる) スタッフを大事にするトップの姿勢

- (3)講師人材の育成 会社が好き 教育が好き 教室が好き 仲間が好き 生徒が好き

- (4)人材戦略 役割分担 表彰 経営に参画 時間の共有 研修会の交流 競争を戦略化 ビジョンの提供

[生き残る塾の条件]

「強い生き物が生き残るのでなく、環境の変化に対応できるものが生き残る」ダーウィン

<1> 3つの条件・力

- 教務力 イベント力(動機付け能力:褒め方の工夫)
- 営業力

<2> ダメになる塾の条件

- トイレが汚い
- 事務処理能力が無い
- 研修制度の退



興学社池田代表の名講義に聞き入る受講生。



池田代表を囲んで出席者全員で記念撮影。前列中央池田代表、その左には広島から来られた山口先生。

化 口コミの動機付けが弱い 退塾者が5%を超えたら黄色信号(成績が下がったら即座に対応する)

客観的評価を受け付けない(業績が悪い塾ほど傲慢である) イベントが少な過ぎる プライドが高すぎる 目標・管理が無い 中・長期計画を立てない 教務力・営業力が弱い 合格実績が弱い スタッフの定着率が悪い 「組織はナマモノ。ほっとけば腐敗する。」という自覚の欠如

[営業力は成長力]

「営業力」の70%はテクニック。他塾から学んでいく。

<1> Plan Do Checkを繰り返す

入塾申込書は、来塾した最初の日に書かせる。80%以上を目指す。その日に申込書を書かないと、5%しか回収されない。

この点に関しては、いささか疑問である。弊塾の場合、保護者にきちんと説明したあと、自宅で書いて書いてもらうが、回収率は80%である。寧ろ、保護者の要望を傾聴し、その要望に回答することをお約束することが大切ではないか？

<2> 温顔無敵

笑顔は子供を安心させる。「友達を連れてこいよ～」を1000回、言わせている。

この点に関しても、いささか疑問である。生徒にとって良い塾なら、先生が言わなくても、自分の心を許す友達を誘ってくる。今の子供は、以前にも増して友達同士の顔色を伺うから、生徒を営業に利用するのは、気をつけた方が良いと思う。

以下下記標題の講義が続いたが誌面の都合上省略します。

[営業研修:トヨタトップセールスマンの販売秘訣]

[学習塾におけるカウンセリング・鈴木理事長]

私塾ネット関東 教務勉強会を再開

教務部長 加藤 実(東京・総合教育研究会)

平成19年度
休会していた
「勉強会」を
5月26日(月)
より再開し
た。第1回は
渡辺先生の
「口語文法入
試演習 ここ
がポイント」
と私の「現代



文の授業展開」というテーマで実施。光村図書「国語3」の「故郷」から出題された中間試験プリントを使って、正答率と誤答の根拠を探ってみた。後半は渡辺先生の模擬授業で、「品詞の識別」のプリントを使っての展開。「が」「の」「ない」という入試必出の語を選んだの模擬授業は的を射ていると感じた。私はというとすぐに話が横道にそれるといった悪い癖が出て、ほんのさわりだけとなってしまった。素材として第1学期中間試験のプリントを配布したのだが、「故郷」よりも漢文の質問を複数の先生方から受けた。それで本日6月30日(月)第2回勉強会のときに中間試験模範解答とともに、私が作成して生徒に配布した補助プリント「漢文の学習」、「漢文訓読法」、「漢文ワークシート」3枚5面を参考までに配布。

第2回勉強会では私が第一学習社「高等学校国語総合」の「独創を生む条件」を素材として模擬授業を実施。これもまた、現代文授業の展開の仕方(「現代用語」提示、口語文法入試演習、漢文の初歩、文学史などを毎週5分~10分程度板書した後教科書入るといった手順を説明)、配布プリントの確認(国語科学習指導案6枚11面、社会科学習指導案2枚4面、読解教材3枚、漢文の補助プリント4枚6面)等で時間がなくなり、一箇所の板書例を示すのみで終わってしまった。後半は渡辺先生の「現代文の授業展開(中学生)」をテーマに「序論・本論・結論」の段落構成、「指示語に注意」、「接続語」は文脈を掴む上で重要、「キーワード、キーセンテンスは早く正確に読むために重要」等簡潔明瞭な話で良かったと思う。ただ前後の意味が同じであることを明示する「同格」の接続詞「つまり」「すなわち」、結果 原因という補足関係を明示する接続詞「なぜなら」、原因 結果という因果関係を示す接続詞「したがって」をすべて「説明」の中に入れてしまわれたのには驚いた。ちょっと大雑把過ぎると感じた。

第3回は9月29日(月)実施予定。このときに「独創を生む条件」の解説プリントを配布して少し今回の補足をを行いと考えているが、若手の先生が講師を望まれるなら、そちらを優先したい。

私塾ネット関東 7月研修会報告

巨象市進とがっぷり四つ

「合格力」の誉田(ほんだ)進学塾を訪問

報告 渡邊 浩(東京・渡辺塾)

7月2日、読売ウィークリーで3年連続公立高校部門「合格力」ランキングで首都圏第一位になった誉田進学塾様で研修をさせていただきました。まずは鎌取駅前にある「誉田進学塾Premium高等部(東進衛星予備校)」を見学させていただき、その後は「誉田進学塾 本部 鎌取教室」へ移動しての研修会でした。研修内容は「概要(実績・沿革)」、「メソッドガイド」、「誉田進学塾の目指すもの」の3本立て。

僕は始め、その「合格力」の秘訣を聞けると楽しみにして、授業やテストなどのシステムを勉強させていただこうと研修に参加していました。「講習は全員必須」「中3生は夏期講習で25日間140~150時間の長時間・高密度の授業」「入塾試験では偏差値60以上の力が必要」「指導要領にとられない独自のカリキュラム」「毎週、合格するまで行なう演習テスト」「やる気UPシステム」など、自塾にはない取り組みに驚き、まだまだ自分の教室でやれることがあると、胸躍らせていました。しかし、「誉田進学塾の目指すもの」ということで清水先生の話聞き、「合格力」の秘訣は、そのシステムではないと感じました。清水先生は「誉田進学塾の目指すもの」を「真の意味での『英才教育』」と言われていました。その「英才教育」とは「学問に王道なし」「王道を往く」ということでした。「合格」「成績が上がる」というのはあくまで「結果」であって、重要なのはその「過程」であると。

また、「それぞれの塾にあった願いを持っている保護者が、塾を選び、通わせているので、そのニーズに応えていくことが大事である。」とおっしゃっていました。この清水先生の「あり方」こそが、「合格力」の秘訣だと感じました。僕自身、自分に出来ること、求められていることをひたすら一生懸命やるしかないんだなと思いました。

昼食のときに、近くに座った鎌取教室 副教室長の山口先生に

「山口先生から見た誉田進学塾が成績を上げている理由は何ですか?」と質問してみました。

「う~ん。」と考えた後、

「生徒一人ひとりを誉めることですかね~。」

塾作りに王道はないんですね。



誉田進学塾鎌取教室(同塾ホームページより転載)

「真の英才教育を。学問に王道なし、王道を往く」

報告 大住 明敬(埼玉・聖学舎)

「物事に対してきめ細かさ大胆さを持って関わっていく」清水先生の人物像を一言で表すところかなと思われた誉田進学塾の訪問研修でした。



プロジェクターを使って塾戦略を語る清水代表

7月2日の関東

研修会は、千葉県の誉田、鎌取、土気地区で地域に密着してレベルの高い学校受験を目指す、生徒の支援塾として頭角を現してきた誉田進学塾の鎌取教室を会場として30名以上の会員参加のもとに行われました。もちろんメインは、代表の清水賢先生の講演ですが、その前に次のようなことが用意されていました。

当日の研修案内が事前に渡されました。塾までの交通経路はもちろん、主要駅からの列車時刻表が届けられました。感服。

今年新しく始められた東進衛星予備校の校舎見学がセットされました。その立派な設備システムに感嘆しました。

いよいよ講演が始まりました。清水先生がすべてお話になられるのかと思いきや、若い2人の副塾長から、現在の誉田進学塾の教務内容(クラス編成、入塾基準、テスト演習の仕方とその処理、定期試験対策の方法、家庭との連絡を密にしていること。スタッフの様子など)が話されました。更に、誉田進学塾の沿革、売上高など、惜しげもなくその情報を開示してくださいました。

このお話の中で特に興味があったのは、沿革説明の中で1978～92を創業期、1993～2005を進化期、2006～を組織化と捉えているところです。

また、パワーポイント、作成したDVDビデオを駆使して賢明に説明するお二人にさすがさを覚えるとともに、今を、組織化と捉え、スタッフ養成に力を入れられている清水先生の、これから着実に拡大路線を取られようとする意欲が、ひしひしと伝わってきました。そのすごさに驚いたのは私だけではないでしょう。

真打登場、清水先生が誉田進学塾の目指すものと題してのお話が始まりました。興味深かったのは、千葉県の勢力分布についてです。市進学院と京葉学院の2大勢力の狭間にあって誉田は着実に伸びているということでした。

また戦略について、目的、目標、行動、顧客について参加者の意見を聞きながら進められたのも良かったです。新理事長が前日の「笑っていいとも」出演の余韻そのままに素晴らしい解答を言われたことも印象に残りました。

このお話を通して、清水先生の目指すものは、「真の意味での英才教育、学問に王道なし、王道を往く」の格言にもあるように、自ら勉強する習慣を付け、最後まで諦めずに努力することの素晴らしさを生徒たちにわからせたいことだと知り大変感動しました。

わかりきったことではありますが、それを真摯な想いで取り組まれている先生ならびにスタッフの方々に拍手を送るとともに、私も負けずに自塾生に対応したいとの思いを強く持ちました。

(社)全国学習塾協会総会開かれる 20周年記念シンポジウム同時開催

報告 渉外部長 佐藤勇治+代表 仲野十和田

(1)平成20年度 通常総会、研修会、懇親会

日時：6月8日(日)/13:00-20:00

会場：豊島区東京芸術劇場[大会議室]、
スパイス池袋東武 13階[橙家]

出席者：約100名

内容：()13:00-14:20 通常総会

()14:50-17:30 セミナー

「学習塾は学校と、こう連携する」

学校支援地域本部事業の説明……

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

地域・学校支援推進室長 佐藤弘毅氏

学習塾と学校の連携方法 ……

全国「よのなか」科ネットワーク

事務局長 若江眞紀氏

藤原和博氏に聞く ……

杉並区立和田中学校前校長 藤原和博氏



(2)20周年記念シンポジウム

日時：6月8日(日)/10:30-12:00

会場：東京芸術劇場[大会議室]

出席者：20名(うちオブザーバー出席者1名)

内容：20周年記念シンポジウム

「協会の未来を拓く」

…社団20年の歩み今後の展望…

佐藤勇治先生(私塾ネット)が編集長を務める、社団の20周年記念誌のシンポジウムが、総会に先立って行われた。

総司会会は菅谷友豊香先生(私塾ネット)。

第1部は「社団の20年の歩み」と題して、前会長の石井正純先生の司会の下、お話が進みました。みなさん、思いつくように歴史を語っていらっしゃるのが印象的でした。

発言者(敬称略):山口恭弘、碓優、佐藤洋、関志郎、荒木健吾、安藤進理、筒井勝美

第2部は「今後の展望」と題して、会長の伊藤政倫会長の司会の下、発言がなされました。それぞれが、今後の社団に懸ける思いを語られました。

発言者(敬称略):岡田保雄、内藤潤司、岡田正隆、増田敏、津田譲、大島九州男、仲野十和田

(この項仲野氏報告)

東京私塾協同組合 創立20周年記念式典開催される

今年、全国学習塾協会は設立20周年をむかえるが、これに先立ち、東京私塾協同組合が20年の成人を迎えた。6月15日、東京九段のホテルグランドパレスで20周年記念式典と祝賀会が開催され、私塾ネットからも谷村、鈴木、仲野、安藤、佐藤、渡邊の7名がお祝いに駆けつけた。

午後4時より、まず東京の組合が加盟する私塾協同組合連合会(NAC)の全国研修大会からスタートした。テーマは「学習指導要領改訂と学習塾の対応」で、教育開発出版の専門家が改定案を分析、これを受けてパネラーが自説を述べる形式で研修会は進行した。



祝賀会の開会の挨拶に立つ岡田保雄理事長。



学習塾の対応について自説を述べるパネラーの皆さん

第2部は話題の国語教材「論理エンジン」の筆者出口汪氏による「国語力と学力を育むための指導法」と題する講演が行なわれた。約140名の聴衆の多くは塾と私学の先生方とあって、ふだんから頭の痛い国語科の指導に特効薬はないのかと、真剣な面持ちで講演に聞き入っていた。

第3部は祝賀会である。さすがに多数の私学を抱える東京都の集まりとあって、私学の先生方が多数馳せ参じ180名を越える出席者で会場は大いに盛り上がった。



四川大地震義援金ご報告と御礼

先にご協力をお願いしました表記の件につき、たくさんの会員の皆様より義援金をお預かりしましたので、一応の期限である6月30日までの入金についてご報告申し上げます。

いくつもの団体に複数寄付をいただいている先生方も多々いらっしゃる中、ご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。尚、7月7日(月)に寄付先である「チベット学校建設推進協会」(全国研修大会で講演をいただいたバイマヤンジンさんの団体です)あてに送金を終わりました。私塾ネット事務局 石川 維雪

義援金総額 176,473円

寄付をいただいた皆様方

(事務局が入金を確認した順となっております)

- 英数学院 長江勝秋 学校法人池田学園 池田弘
- 向学館 村社啓介 学習院セミナー 寺嶋謙次
- 朝日学習館 梶原賢治 湯口塾 湯口兼司
- 山田塾 山田明子 ナカジク 仲野十和田
- 私塾ネット関東有志様(5月25日:エリア関東研修会参加者)
- いぶき学院 鈴木正之 広島学習研究会 山口恭弘
- 栄光プレップ 北川健治
- 私塾ネット関東有志(6月15日:東京私塾協同組合20周年記念式典参加者) 調布学園 佐藤勇治 AIM学習セミナー 谷村志厚 若竹塾 佐藤将紀 LAPIS鎌ヶ谷 田中宏道 大竹芸城学院 城 プロGRESS英語アルファ塾 宇宙里佳子 札幌進学教室職員・生徒有志一同 学燈塾 石川維雪 (以上敬称略)

来賓ご祝辞とご挨拶

- 東京都中小企業団体中央会 事務局長 野口雅春氏
- 東京都私立中学高等学校協会 会長 近藤彰郎氏
- (社)全国学習塾協会 会長 伊藤政倫氏
- 功労者表彰 26塾(26名)
- 乾杯 声の教育社 専務 小泉邦人氏
- 組合との20年の思い出
 - ・東京女子学園中学高等学校 校長 實吉幹夫氏
 - ・神田女学園中学高等学校 校長 斉藤元治氏
 - ・株式会社コスモ 社長 望月一成氏

ご挨拶

- 開会 岡田保雄理事長
- 閉会 岡本清彦副理事長

祝・神田女学園 新校舎落成

私塾ネット賛助会員である神田女学園（千代田区・齋藤元治校長）は、昨年から新校舎を建築中であったが、5月30日、新校舎落成記念式典を挙行し、私学、塾関係者に最新の設備を披露した。私塾ネット関東ではこれに先立つ3月、定例会の会場としてピカピカの会議室をお借りするなど、齋藤校長には特別のご配慮をいただいている。落成式には私塾ネットメンバー8名が駆けつけ、齋藤校長を激励し神田女学園のリニューアルを祝った。



新校舎南西面の全景
千代田区猿楽町2-3-6
(JR水道橋から徒歩5分)



3月には卒業生を送りだした、竹に流水の緞帳も鮮やかな講堂。
吹き抜けのエントランスはいかにも女子校らしいたたずまいだ。



齋藤校長を囲む私塾ネットメンバー、祝賀会会場にて。

「今、ここ、切に」

神田女学園は2年後に創立120周年を迎える、女子教育の伝統校であります。新校舎が完成し、新しいロゴマークも決まり、本校の今後の教育方針も定まり、120年のプロローグはすでにスタート致しております。本校は今後とも女子教育を校是として守り抜いていく覚悟であります。というよりも、男女共同参画時代にこそ女子教育が見直されるべきであります。幼稚園から、小学校までと、大学からは共学が非常に自然な教育システムであります。基本的人権は男女平等であることは至極、当然であります。が、中学、高校時代にこそ、きちんと性差を認識し、それぞれの特性について学び、その特性に磨きをかける時期であります。ユニセックスの時代が進行している今、ますます、女子教育の教育システムが見直されるべきであります。また、今日ほど価値観が多様化して、混迷している時代ありませんが、「個の時代」が声高に叫ばれ、自己チューの人間があちこち跋扈している時ほど「相手の思いやる心、利他の心」が必要であります。「己の欲せざることを、人に施すことなかれ」という孔子の「恕」のこころをベースにした教育が求められるところです。「将来のために、10年後のために、・・・のために今は・・・しなければならない」というフ

神田女学園中学高等学校校長 齋藤元治

レーズは洋の東西を問わず、よく言われていることです。確かに、将来のために「備え」をすることは非常に重要なことですが、「将来のために・・・」を優先して、今この時期にしかできないこと、あるいは今だからこそやるべきことを怠ると、必ず将来に禍根を残すこととなります。今-ここ、今-この連続が人生です。中学校、高等学校、それぞれの成長期に、感動すること、悩むこと、鍛えること、耐えることとしっかり向き合うことが必要です。道元禅師は「而今」（ニコン）という言葉で「今、ここ、切に」の生き方を説かれておりますが、生徒がそのような学園生活を身につけてくれることを切に願っております。また、来年度から完全中高一貫教育を確立するために、中学ではプレシードクラス、サクシードクラスを新設し、高校ではエクシードコース、サクシードコースという新コース制を導入し、生徒の能力を最大限に引き上げる教育実践も推進して参ります。地球温暖化問題も確かに大事ではありますが、混迷した時代を生きていこうとする若者たちのために今、私達が何をすべきかじっくりと考え、評論家にならず、やるべきことを、即実行すべきと考えております。

鈴木 & 石川の四国珍道中 奥が深すぎるぞ『讃岐うどん』

報告 理事長 鈴木正之

起床6時30分。7時55分のJALで石川事務局長と高松へ。空港へ到着すると福富先生の笑顔が待っていた。福富先生の車に乗り込みうどん屋さんへ向かう。ただ、まだ開いていないので寄り道。源平の合戦で有名な屋島。那須与一は栃木県出身、同郷の身としてはいささか親近感を覚える。屋島はもっと沖合かと思っていたが、今は陸続きということでビックリ。さて、車で山頂(島の上)まで登り、徒歩で20分ほど散策した。福富先生の健康法は歩くことだそうで、屋島に登ると聞き、またビックリ。東京に帰ったら歩くぞ(とその時は思った)。

さあ、いよいよ1杯目の『讃岐うどん』。(四国行ったらうどん屋巡りを)という話は聞いていたが、2日間で3食しか予定のない我々が『讃岐うどん』を4杯食べることになるとは思わなかった。「善や」というお店で冷たい『讃岐うどん』うどんの上に野菜天が4つほど乗っている。東京で食べる無機質なうどんと違い、うどんが活着している感覚を覚えた。驚いたのは値段、東京ではどんなに安くても700円。ちょっとした所で食べようものなら1000円前後。ところが1杯450円!安さも『讃岐うどん』の魅力と知る。

ホテルでの研修会を経て懇親会。懇親会の締に『讃岐うどん』(2杯目)が出たのは言うまでもない。

『讃岐うどん』の旅の2日目は、私塾ネット中国の新代表の寺嶋先生にご一緒していただく。さて、ここでも寄り道。寺嶋先生の塾舎を見学させていただくことになる。まだ誰もいない教室ではあるが塾生の息づかいを感じた。

さあ、向かった先は……。うどん屋?駐車場に観光バスが……。『宮川製麺所』看板が出ている小さなお店?「もう1杯食べるから、1玉にして下さい」と寺嶋先生。お店の主人らしい人が、どんぶりにうどんを入れる。自分でお湯を通して、お湯を切る。つゆを入れたら好きな天ぷらに乗せる。初体験。お世辞にも綺麗と言えないお店。お店にビックリ、自分でやることにビックリ、そして食べてビックリ「うまい」。値段は420円!3杯で420円!その時すでに完全に寺嶋ペースに2人ははまっていた。

3杯目を食べてすぐ車に乗り込んだ。いよいよ4杯目の『讃岐うどん』だ。ところが、行けども行けども、いや行けば行くほど山の中。人家がまばらになっていく。今度は農家の1件やでおばあちゃんが出て来るという嗜好か?しかし少しずつ今度は山を下り出す。山を越えてやってきたのはその名も「山越うどん」だった。ここは、先ほどとは違い観光客相手のお店だそう。お土産も売っていた。30人ほどの行列の最後尾に並んだ。「かまたま」が良いというので「かまたま」を注文する。「かまたま」とは生卵をどんぶりに入れ、その上にゆで上がったうどんを入れるだけのものだった。しょうゆで味付けをして食べる。熱いうどんが程良く生卵を固める。熱いご飯に生卵をかけて食べるのと似ている。違うのは卵にうどんをかけること、卵がかたまりかけてうどんに絡むことだ。夢中でたいらげた。

感動の中、高松空港に向かった。高松空港で待っていたのは福富先生の笑顔だった。

寺嶋先生、福富先生ありがとうございました。そして、こんな経験をさせていただいたこと、湯口先生を始め四国の先生方に感謝しております。

東京に戻り『讃岐うどん』を自宅で作った。「かまたま」が癖になっていた。



石川さんのおいしそうな表情に案内役の寺嶋さんもご満悦。



四国の旅は福富さんのお迎えに始まりお見送りで終わった。最初から最後までありがとうございました。



私塾ネット四国エリア研修大会開催される

日時：平成20年5月18日 午後1時～5時
会場：香川県丸亀市 オークラホテル丸亀

報告 川口順次（香川・学の森育心館）

第1部研修会 午後1：00～3：00

エリア代表寺嶋先生の挨拶で始まり、センター理事長鈴木先生、センター事務局長石川センの挨拶と続き、エリア会員からの報告と続きました。

（今年度の募集に関して）

その中で特筆すべきは、小学生の募集が鍵になること、保護者との意識のずれは広がっている可能性があることでしょう。

（募集とDM）

湯口塾ではDM、チラシ等の効果が薄れている中、「タウンプラス」という地域の全戸に配布される郵メール（約5000部で単価19円）を通して塾を知らしめる方法を取り、効果を挙げている。その理由は、郵送されることによる中身の存在感が上がるのではないと思われる。

また、東進衛星予備校では、「ZMSブログ」というブログに毎日1200アクセスがあり、そのほとんどは内部生であるが、外部生からの問い合わせ等も含まれており、ホームページを通じた募集を可能にしている。

次に、稲伸ゼミナールでは5つの高校の準拠クラスを作り授業を展開し、定期テスト対策問題は塾生の1.5倍を作り塾外生にも配布している。つまり、日々の指導が募集につながるようにしているわけである。

（都市部からの報告）

和田中で行われている、「夜スベ」でサピックスによる一斉指導はさほど人気が出ていないが、トライによる個別学習は今のところ人気がある。ここから、公教育の中に個別指導等が入る可能性が出てきていることが分かる。この傾向は、いずれ地方都市にも波及可能性を含んでいるといわざるを得ないだろう。

研修会（丸亀塾通りを歩く）

丸亀の町を歩く、背広姿のメタボ、プチメタボ軍団。久々の再会に会話も弾む。顔はウキウキ小学生の遠足気分。はっきり言って、善良な市民の皆さんにはちょっと異様な光景として映っていたでしょう。目指すは、丸亀城...もですが、会員の皆さんの塾。

まず、東進衛星予備校。さすがのひとこと。全国レベルのスーパー講師が香川県の田舎で受講できるということは、地方の受験格差是正に大きく役立っているはず。また、単に映像授業を受けるだけでな



寺嶋組襲名披露のようですが、さにあらず、真面目な研修会の発表風景。

く、チューターの方によるフォローや東進のシステムによるスモールステップ形式のチェックテストなど随所に生徒のモチベーションを維持し続ける工夫が見受けられました。

次にちょっと歩いて湯口塾...のはずなのにたどり着いたところは、窓に花が飾られた、プライダルも出来そうな、女の子なら必ず振り返ってしまいそうな建物。え？ここが塾？中にはいると、やはり、ここは塾。なるほど、これが湯口戦略なんだなと思わせていただくことしきりでした。外観がどうあれ、よい授業をするための仕組みがギュッと詰め込まれていました。既存のモノをどう生かすか。そう工夫を凝らすこと、これこそ湯口塾。

さて、次に稲伸ゼミナールの学習発見館。ここは、先ほどとがらっと変わって、まさに塾の外観に、掃除の行き届いた部屋、建て増しされた教室がいかに学び場としての雰囲気演出しています。授業の一部を拝見させていただきましたが、子どもたちの顔から学ぼうとする意識の高さを伺い知るこ



とが出来ました。

屋上に上ると、その緊張した雰囲気から一転、丸亀の街が一望でき、「ああ、これからあの小高い山の上の城まで登るのかぁ…」と漏れるため息を消し去ったのが、「時間ですので城跡散策は中止となりました。」の連絡。一部の先生から安堵の笑みが漏れるのを見逃しませんでしたよ。口では「残念だなぁ」なんて言いながらもね。

塾は既成概念でつくるもよし、それを打ち砕くもよし。いずれにせよ、そこで教える者の意識が統一され、その教室にあった授業を展開するべきであることを実感させていただきました。もし、その姿勢に揺らぎがあったら、その塾に通う子どもたちは、教えられる側としての方向を見失うことでしょう。それでは塾の経営は成り立たなくなります。

（懇親会）

やって参りました。懇親会。この時間の貴重さは、言うまでもなく個人面談。雑談の中にこそ、それぞれの塾経営者としての理念を垣間見ることが出来るのです。わずかにアルコールが入ればなおのこと、塾長ひとりひとりの強みも、弱みも、見えてきます。瀬戸の海の幸満載のディナーに舌鼓を打てばさらに口は軽く、言葉は弾んでいました。

とはいえ、ホテルの他の階では、華やかなブライダルが執り行われ、廊下やロビーには着飾ったお嬢さんがたくさんいらっしゃいました。多くのやろどもこの懇親会には、チラホラと華があるものの、華やかさとは縁遠い雰囲気。よくぞ他の階に脱走して迷惑をかける人がいなかったものだと感心します。

（二次会・三次会）

村祭りの雰囲気にも似た集団が個人技を競うのがカラオケ。次々と繰り出される熱唱という名の技の数々、皆さんご満悦でした。そして、その次には瀬戸大橋を眺められる部屋で懇親会の続きの話。それでも話し足りない気持ちを残したまま、思いは明日の授業へと移ってゆくのでした。

今回もまた、エネルギーと情報が満載の研修会でした。変わらないもの、変えないもの、変わらなくてはいけないもの、時代の流れの中のどこに今の自塾があるのか。参加するごとに見つめ直す機会を得ることこそ研修の本質です。そして、今回の研修会も、その本質を突くことの出来た研修会であったと言えます。

わざわざ東京から参加していただいた役員の方皆さん。広島から貴重な報告をしていただいた皆さん。高知から研鑽に来ていただいた先生。それに、準備に奔走していた塾長、先生方、本当にありがとうございました。その思い、実りました。



左から山口名誉会長、寺嶋私塾ネット四国代表、小野先生、近藤先生、讃岐うどんを食べている後ろ姿は田村先生。至る所に会話の和ができていた。後ろの和には湯口先生。



丸亀城跡までの登城は断念して、しっかりと丸亀城の門の前で記念撮影。ちなみに、お堀には沢山、亀がいました。



『2008年教育進学情報交換会』を終えて

エリア東北 代表 畑山 篤(青森・志学塾)



去る6月25日(水)に主催私塾ネット東北、後援社団法人全国学習塾協会の「2008年教育進学情報交換会」を八戸グランドホテルで開催いたしました。11:00～14:00の時間帯のランチ会議ということで、八戸市近隣の塾長&教職員、学校教職員、保護者一般の方々を対象に100通ほどご案内させていただきました。

全国的な少子化傾向の中、学校教育と社会教育が家庭教育を中心とした個々のニーズに対応せざるを得ない、益々舵取りの難しい時代になってきたという背景も手伝ってか、21名の方々がお集り下さいました。

まず開会のご挨拶は、私塾ネット副理事長でいらっしゃいます関志郎先生、そしてスペシャルゲストの参議院議員大島九州男先生のご紹介もいただきました。



開会の挨拶に立つ畑山先生。正面左は大島議員、右は関先生。

情報交換に先立ちまして進行役の私の方から配付資料の説明を兼ねて、次のようなお話をさせていただきました。

皆様の地域では高等学校の統廃合、学区撤廃、公立中高一貫校の設置等々の「教育改革」はどのように行われていますか。経済産業省では数年前より少子高齢化社会では「教育は個別化、公設民営化を辿るだろう」という見方をしてきました。そしてここに来て文科省が「学校支援地域本部」の1800箇所設置を目指し50億円余りの予算を使うこととなり、今年の3月末の一次締切で全国1152箇所が申請しました。6月末に二次、その後三次、四次と申請を受け付けることとなっています。つまり、第一次で12市町村36箇所が申請したここ青森県に「夜スベ」が来年から始まる可能性があるのです。経済産業省は5年間で200余りの株式会社の学校ができると言い、文科省は何れ1中学校(2小学校)学区に1つの「学校支援地域本部」を目指すと言います。近い将来の「建物は税金、経営は民間」という「公」教育の流れは、「建物も民間、経営も民間」の学習塾にとってどのような影響があるのでしょうか。そして「甲子園より東大」という私立高校が全国的に増える傾向にあります。つまり、特進コースに予算を多く分配する私学が増えているということです。実は、これらの動きには「教育には良い教員が不可欠」という共通の考え方があります。では、「良い」教員とは何か？良い教員はどこにいるのでしょうか？...大学進学実績を挙げている私立進学校にいるのでは...とか、地域で信頼できる学習塾にいるのでは...とか。その答え

が、消費者や家庭の求める学校教育や社会教育という流れの中にあるのなら、確かに税金も投入されるでしょうし、教育のニーズも集まるのかも知れません。

小・中・高の子供たちを日々指導する地域の「学習の場」として公教育と民間教育が「連携」するということは既存の学習塾は「取り込まれてしまうのでは？」という危惧も拭い去れません。今回は、学習塾塾長であり参議院議員でもいらっしゃる大島九州男先生をお招きして、「小・中学校の学区撤廃！そして公設民営化のシナリオの中で教育の進むべき方向は、」など国政のホットな情報もお話頂く予定です。また、全国最先端の「一斉個別指導方式」で今春みごと東大合格させた実例なども交え、活発な情報交換会を行いたいと存じます。

どうも私の話が長くてここまでで40分を費やしてしまいました。このような話のスタートから自己紹介、昼食をとりながらも会場では至る所で情報交換が行われ、終了の予定時刻を30分程過ぎて閉会いたしました。

主な話題は『公立中高一貫の流れの中で、夜スベ、学区撤廃は小中学校の公設民営化!?塾はこのチャンスはどう考えればよいのか』『高校入試改革の現状と来年度以降の影響、高校入試難易度の予想は』『高校入試のなくなる公立中高一貫対策と全国統一小学生テスト、四谷大塚NETvs日能研リーグの現状と今後について』『先生1人対生徒24人の「一斉個別」指導方式で不登校から東大合格までを可能にした実例など個別指導の現状と今後について』などでした。

最後に大島参議から「5塾でも6塾でも...まずは地域の塾が連携していきましょう」と熱いメッセージが送られ、教育の現状と将来を語る「教育進学情報交換会」はお開きとなりました。参加した一般の方から「大島先生を筆頭に塾の先生の話は分かりやすかった。だから塾なんだね。」と感想を頂きました。想定していなかった面に対する感想だったのでご紹介しました。参加者21名の内訳は学習塾関係者18名、私立高校2名、一般1名で、学習塾関係者には公文・学研の経営者が3名含まれていました。

少子高齢化社会、格差社会の真っ直中、「情報のネットワーク」が不可欠な時代を迎えようとしています。東北エリアでの私塾ネットの活動がますます重要になって行くと考えます。



大島議員の熱いメッセージに真剣に聞き入る左の女性は安藤先生、右に大島議員、関先生と畑山先生。

エリア中国 代表 北川 健治

(広島・栄光プレップ)



5月15日、私塾ネット中国の定例会の席上、引き続き中国エリアの代表をおおせつかった北川健治です。改めてご挨拶申し上げます。さて、本年4月より、我が私塾ネットに鈴木先生が第3代の理事長として就任されました。新理事長の強力なリーダーシップのもと、気を引き締めてエリア活動をしていきたいと思っております。会長に就任された谷村先生もいよいよ長老の道(?)を歩まれることとなり、いよいよ関東の名だたる大先輩の薫陶をお受けになられることと思っております。私ども中国エリアは関東に先駆

け、一步早めに地元塾業界のため、「長老への道」の薫陶を受けております。これが一番の中国エリアの自慢です。「私塾ネット中国発 長老への道」であります。長老は元気でなければなりません。長老は自塾の経営はもちろんですが、塾業界に一言物申す気迫が要求されます。長老は頑固と言われても筋が曲がったことは許しません。まことに長老への道は生半可ではないようです。ここにここ数年来の定例会を見ても、塾を取り巻く環境のめまぐるしい中で、経営面、教務面に渡り厳しい事例報告の後にいろいろ議論が出て参りますが、結局のところ、「下手に策に走るより生徒と親御さんを大切にせよ」、「自分ができることは先ず何なのかを抑えて行動せよ」との長老の「ピシッ」とした指導が、一番効きます。他のエリアと同じく、地方の塾にあつては、関係する学校、行政、他の任意団体、協会への地元での発言力が大きくなってしまふのは仕方ありませんが、それだけに元気のある長老が必要となつてきております。会員一人一人が現在の地元の長老から全てを吸い取って、「華麗なる長老」へと育ちたい(?)と願う以上、中国エリアの衰退はない、と考えています。本年度、中国エリアは長老への道の原点回帰を打ち出し、秋の塾長研修では、宇部進学教室を訪問見学させていただき徐々に山口湯田温泉におきましてこじんまりと「塾、維新の集い」をすることとなっております。さあ、夏です。季節は加速度をつけて流れていきます。流されず、埋もれず、夏、頑張りましょう。中国エリアも頑張ります。



苦言提言 連載コラム

名誉会長 山口 恭弘

私は、50年近く学習塾の仕事をしてきました。塾業界はいままでにない大きな変革の時代を迎えています。皆さんもご承知のことと思いますが、昔に比べ塾の経済規模が大きくなる方向で動いています。塾産業といつても可笑しくないようです。教育産業でもよいです。でも塾は物を売る仕事ではありません。教育は人間の持っている才能をのばし、国家・社会をよりよい方向に導くとともに、よき日本文化を継承する人づくりにあります。

1970年代の話になりますが、学校で習ったことが間違っているから先生に知らせてあげなさいと、知人の塾の先生が塾生に指示しました。

学校の先生の返事は「学校は人間形成の場で間違えても良い。」でした。高校の先生をしている友人に、この話をしました。彼は嘆きながら似た話をしてくれました。

「中学生の息子が、先生の言われたことが辞書と違っている。」と言うので、辞書を持って行って先生に話しをさせたそうです。ところがその結果は、「辞書がまちがえている。」とのことだったそうです。

子供の人間形成の前に先生が先だ、と思いました。塾も同じです。繰り返しますが、塾産業になつても物を売るわけではありません。塾は教育という仕事をしています。塾の先生は塾生と保護者との心のつながりで成り立っています。昔からそれを忘れていた先生が見られます。その塾の多くは変わり目に閉鎖されています。新しい事をしなければと言う意見もありますが、お母さんに信頼される塾が一番強い、昔よいと「言われていた事をやるべきだ」と言う意見があります。繰り返しになりますが、良い品物を作らなければ物は売れません。良い教育は人と人との付き合いの中から出来ます。皆さんこれからの塾のすべき事を考えましょう。

エリア四国 代表 寺嶋 謙次

(香川・学習院セミナー)



初めての方もたくさんおられると思いますので簡単に自己紹介から始めさせていただきます。このたび湯口先生の後を受け継いで四国地区の代表を務めさせていただくことになりました香川県の寺嶋と申します。昭和63年7月に香川県善通寺市で3名の生徒と学習院セミナーをスタートしました。お蔭様で今年で開塾20年を迎えさせていただくことができました。開塾以来、「本当に学力を伸ばす」[必ず第一志望に合格させる]「自立した一人前の人間に育てる」「社会に貢献できる人間を育てる」ことを目標に指導をおこなってきました。今回四国代表に選出されたことを契機に、これからは四国地域の子どもたちおよび教育業界のために微力ながら力を尽くしたいと存じます。

今年が開塾20周年になります。まだまだ諸先輩からすると若輩者ですが、私なりの教育機関としての塾のあり方を述べさせていただきます。

今、現在、「塾・予備校」に何が求められているのでしょうか。

そもそも、「塾・予備校」とは「私教育機関」であり、「教育」とは「個人が持つ才能を発見し、育てることである」とされています。

もっとも、従来、塾・予備校に期待されてきた事柄は、「学校の定期テストの順位を上げる＝無理やりにも詰め込む」、「いい高校・いい大学に入れる＝やはり無理やりにも詰め込む」という単純明快な事柄でした。そして、多くの保護者と子どもたちは、それを何の疑いもなく受け入れてきました。

しかし、現在、既成の価値観が大きく変貌し、かつ、多様化しつつあります。塾・予備校もその例外ではありません。「いい高校・いい大学に行こう」と声だかに叫び、詰め込むだけの授業では、子どもも保護者も納得しません。そもそも、「いい高校、いい大学とは何か」が問われているのですから。

それでは、これからの時代、「塾・予備校」はどう在るべきでしょうか。

まず、塾・予備校が、これからも、学力向上の場であり続けることに、変りはないでしょう。「塾にあって成績が落ちた」ではお話になりません。

しかしそれと同時に、情報発信の場としての役割が期待されているでしょう。現代は、情報化社会です。情報収集を怠ることは、敗北を意味します。にもかかわらず、地方は、情報の点で不利が否めません。また、情報化社会がゆえに、有用な情報から、無用な情報、ひいては、虚偽・有害な情報まで溢れています。そこで、当塾は、正確な情報を提供することが、塾・予備校の社会的使命であることを十分に認識し、活動していきたいと考えます。

最後に、塾・予備校は、子どもや保護者とのコミュニケーションの場であるべきでしょう。十分なコミュニケーションがあって、初めて信頼が生まれ、提供する情報が生きてきます。また、子どもたちの本来の姿を知り、「教育」の意義である「個人が持つ才能を発見し、育てること」に、ささやかながらも貢献できるのではないのでしょうか。これからも、当塾は、あるべき「塾・予備校」の姿を追い求め、少しでもそれに近づいていきたいと思っております。

私塾ネットホームページのブログに四国研修大会の様子が掲載されています。アクセスしてください。



エリア中部 代表 松本 紀行

(長野・チャレンジ学院)

5月25日(日)「湯けむりの会」へわざわざ石川事務局長にお越しいただき、誠にありがとうございました。あいにくの曇り空で信州の山々があまりすっきりしない景色でしたが、それなりに楽しんでいただけたかと思えます。静かな和風旅館の中で、かつての私塾連盟の話に花が咲きました。これからの私塾ネットの新しい展望についても、力強さをいただきました。次はもう少し多くの方々に参加していただければ、もっと楽しい集いになるかと思われま。石川副理事長には車山高原からの富士山を見て頂きたかったなあと悔やんでおります。原先生、三松先生、大変ご苦労様でした。酒よし、露天風呂よし、話よし。次は秋になります。

6月25日(水)長野県高校入試統一テスト会の作問審議会を行います。朝、早いので少々大変ですが、皆さんなんとか頑張っております。つくづく、関東エリアの皆さん方の努力に頭が垂れる思いです。今回も二つの素晴らしい企画を実施されようとしていることに敬意を払いたいと思えます。

昨日開かれたNPO全国教育ボランティアの会において、全国の塾の皆さん、各方面からボランティアを実践されていること、塾ならではの醍醐味でしょう。佐藤実行委員長の記念誌発行事業もこれから佳境に入るとお聞きしました。私共も可能な限りご協力させていただきたいと思えます。



エリア関東 代表 仲野十和田

(東京・ナカジユク)

4月より新しい体制に生まれ変わり、足早に2ヶ月余りが過ぎました。この間、5回の研修会が精力的に行われました。私は立場的に、運よく準備段階から携わらせていただいておりますので、本当に勉強になることが多くあります。5/25(日)は、興学社の池田代表をナカジユクにお招きし「私塾ネット仲間大学」を開催いたしました。その入念な打ち合わせと、事前準備は私も戸惑う程、綿密なものでした。会の成功も「予定通りの成功」、そんな感じも受けたものです。

7/2(水)は、菅田進学塾にて研修をさせていただきました。事前打ち合わせから、清水貫先生より、「いらした方に喜んでもらいたい」という姿勢が強く感じられ、とても感銘を受けました。丁寧な案内図の作成や当日の資料、職員の役割分担など、勉強させられることが多い塾でした。

7/6(金)は、若手職員が中心となって作る、初めての研修会(板橋区浮間舟渡)が行われました。職員が活躍し、スキルアップできる場を作ること、今年度エリア関東の大きな取り組みの1つとし

たが、予想以上の成果を取る会ができたと思っています。初めて参加の宮脇先生(塾長)からも、思わず「すごい会ですね」と言葉がこぼれました。

余談ですが、先日自塾のスタッフを連れて、長江勝秋先生(英数学院)の塾におじゃましました。目的は小学校英語のシステムを勉強させていただくためです。そして、そのことに関してはとても勉強になりましたが、ナカジユクの若手スタッフがもっと心に響いたことは、長江先生の人となりでした。開塾42年を迎えた塾長が、駅前で神奈川の大手塾に囲まれながら、前向きに第一線で活躍されている姿です。

「40になると、現場から離れた方がいいと言われた方がいましたが、長江先生や碓先生のように活躍されている姿をみると、自分次第だと思う」という、若いスタッフの感想が印象的でした。

各部報告

渉外部報告

渉外部長 佐藤勇治

1 全日本学習塾連絡会議

(1)平成20年度(2008)『私塾・私学・企業 教育ネット要覧』第8集の発行と配布

日時:6月10日(火)/10:00 - 19:00

会場:調布学園(全日本学習塾連絡会議事務局)

出席者:伊藤、佐藤(あおき印刷)、佐川急便2名、佐藤(調布学園)計5名

内容:平成20年度(2008)『私塾・私学・企業 教育ネット要覧』第8集の発行

(B5判・308頁・2800部)と全国67学習塾団体への発送作業

(2)第86回全日本学習塾連絡会議

第29回私立中高進学相談会

日時:7月3日(木)/9:30 - 12:00

会場:新宿NSビル 13階[NS会議室]

出席者:25名

内容:()9:30 - 10:00

第11回全日本学習塾連絡会議 世話人会

()10:00 - 11:00

第29回私立中高進学相談会(担当:稲葉秀雄)

()11:00 - 12:00

第86回全日本学習塾連絡会議(担当:佐藤勇治)

各団体の行事、社団法人・全国学習塾協会設立20周年記念式典、記念誌の概要

2 社団法人全国学習塾協会

通常総会・研修会・懇親会・20周年祈念シンポジウム

日時:6月8日(日) 10:00 ~ 20:00

会場:豊島区東京芸術劇場[大会議室]

*詳細はP4に掲載

3 NPO法人 塾全協

(1)中高入試を考える会

(同時開催:NPO塾全協総会)

日時:5月18日(日)/13:00 - 16:00

会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

出席者:私立学校の先生、学習塾、教育関連企業の代表者 約100名

研修会:講師=森上展安先生

(平成20年度国・私立中学受験総括)

講師=安田 理先生

(平成20年度公・私立高校受験・首都圏)

4 東京私塾協同組合(私塾協同組合連合会)

第18回 私塾協同組合連合会 全国研修大会

東京私塾協同組合 創立20周年記念講演

東京私塾協同組合 創立20周年記念祝賀会

日時:6月15日(日) 16:00 - 20:00

会場:ホテルグランドパレス

*詳細はP5に掲載

5 NPO法人 全国教育ボランティアの会

(1)平成20年度(第9回)定例総会

日時:6月22日(日)/14:00 - 16:30

会場:調布市民プラザ「あくろす」2階[会議室]

出席者:7名(委任状提出者=24名)合計有効投票数31名(会員数=39名)

内容:第1号議案(平成19年度 事業報告)

第2号議案(平成19年度 決算報告)

第3号議案(平成19年度 監査報告)

第4号議案(平成20年度 事業計画)

第5号議案(平成20年度 予算案)

すべて原案通り可決しました。

6 民主党幹事長 鳩山由紀夫衆議院議員ほか 民主党両院議員と社団法人・全国学習塾協会 関係者との懇談会



鳩山幹事長自ら懇談会に出席され開会の挨拶をされた。

日時:6月9日(月)/12:00 - 13:30

会場:民主党本部6階[大会議室]

出席者:()民主党側

幹事長 鳩山由紀夫 衆議院議員
 企業・団体委員会 委員長 前田武志 参議院議員
 衆議院文科委員会委員 藤村 修 衆議院議員
 企業団体委員会委員長代理
 小官山泰子 衆議院議員
 参議院予算委員会理事 文科委員会委員
 水岡俊一 参議院議員
 企業団体委員会委員長代理
 大河原昌子 参議院議員(司会)
 大島九州男 参議院議員(設営)

以上7名出席 ほかに代理出席7名

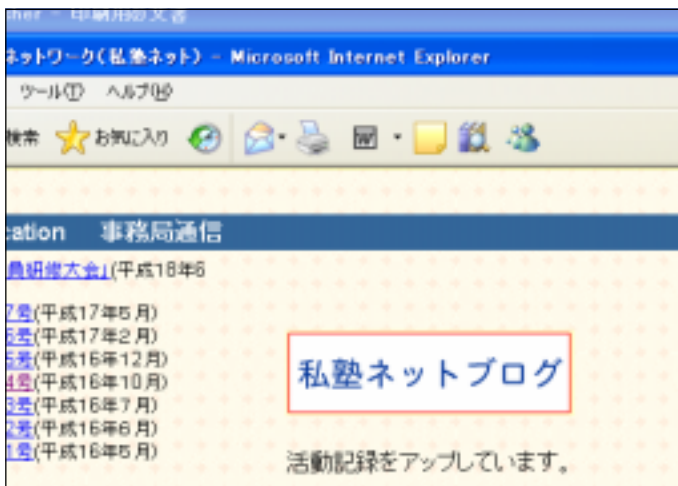
()学習塾側

伊藤政倫、楠山敬志、碓 優、稲葉秀雄、岡田保雄、関 志郎、岡村寛三郎、杉山信良、中萬隆信、荒木健吾、筒井勝美、山口恭弘、増田敏、安田理、日本航空学園理事長梅澤史毅、玉川大 学教授 山口榮一、鳥海十児、松田邦道、佐藤勇治、事務局 大木一利、月刊私塾界編集長 小松敦子(敬称略) 以上21名出席

内 容:教育の現状、学習塾の活動について、相互理解を深めるため意見交換をしました。



民主党両院議員の懇談会で全国学習塾協会の活動内容を説明する稲葉秀雄専務理事(右側中央立っている人)、手前は伊藤政倫会長、その向い側は鳩山由紀夫幹事長。左側は民主党の国会議員の皆様。



仲野さん 責任編集の「私塾ネットブログ」が評判?! 最新の話が「赤裸々」に記録されています。品行方正で生きねばなりません。

会 計 部 報 告

会計部長 監物一男

会員の皆様には、広報などでいろいろとご協力いただきありがとうございます。今回の役員改選で会計部を担当することとなりました。会の運営が円滑に進むよう、前任の石川先生のご助力をいただきながら、がんばってまいりたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、早速ですが20年度もセンター会費の徴収を行っております。つきましては、各エリアごとに、センター会費を集めさせていただきたいと思えます。詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当にお問い合わせください。

エリア代表者

- エリア東北 畑山篤 (志学舎)
- エリア関東 仲野十和田 (ナカジユク)
- エリア中国 北川健治 (栄光プレップ)
- エリア四国 寺嶋謙次 (学習院セミナー)

又、エリア東北北海道、エリア東北(青森以外)、エリア中部、エリア近畿、エリア九州につきましては、センター会計部より、直接会費を集めさせていただきます。

尚、詳細やご不明な点は、センター会計部 監物一男 (048-688-6903 向学館内) までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】以下の郵便口座までご送金ください。

(口座番号) 0 2 3 0 - 6 - 0 0 6 8 8 2 0

(口座名義) 全日本私塾教育ネットワーク

【銀行振替でご送金の場合】
 埼玉りそな銀行 七里支店

普通預金 4 4 1 3 3 1 6

(口座名義) 私塾ネット 会計部長 監物一男
 以上、よろしくお願い申し上げます。



私塾ネットのホームページをご覧いただいていますか? 「私塾ネット」で検索してください、活動の報告が掲載されています。

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 石川維雪

事務局長を拝命しましてから早くも3ヶ月が経とうとしております。

慣れない仕事が多く、皆様方にいろいろとご迷惑やご不便をおかけして参りました。

特に、センターから直接会費のご案内を差し上げました先生方には、事務的なミスから大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

さて、前回の広報でも表明しましたように、今年は「各エリアの行事に参加する」「メルマガジンを発行する」「インターネットを利用した各種サービスを研究する」の3点を中心課題と考えております。6月までに参加・実行した事柄をご報告したいと思います。

まず各エリアの行事への参加ですが、以下の行事に参加しました。

エリア四国研修会：5月18日(日)～19日(月)

鈴木理事長と2名で参加しました。石川の視線での道中記はメルマガに記載しておりますので、是非そちらをご覧ください。メルマガのご希望は、melmaga@shijuku.net までどうぞ。

エリア中部定例会(湯けむりの会)

5月25日(日)～26日(月)

今回は、東京からは私一人が参加しました。詳細はやはり「メルマガ」で。

エリア関東研修会：7月2日(水)

千葉の誉田進学塾で行われた研修会に参加しました。こちらは私塾ネットのブログに速報がございます。(<http://sijukunet.blog.so-net.ne.jp/>)

メルマガは何とか6月号が発行できてきて、この広報がお手元に届くころには7月号も発行できているのではないかと思います。皆様のお力をいただいで続けていきたいと思っておりますので、是非ご意見、ご希望、ご投稿をお待ち申し上げます。

さて、四川大地震の義援金の募金も忘れられない仕事になりました。ご報告はこの広報の別のページで行っていただきますので、ご覧ください。

最後になりますが、他団体の行事も「6月1日：JJA関東支部会」「6月8日：JJA総会」「6月15日：東京私塾協同組合20周年」にも参加したことをご報告申し上げます。

閑話休題

編集長 谷村志厚

今号より全ページの編集を担当することになった。これまで平林編集長とページを分担しての作業だったが、さすが16ページ全部となると手間である。どのくらい時間がかかるものだろうと計測してみた。パソコンの前に座って作業をするだけで、正味16時間程度を要した。この4年間平林先生におんぶにだっこでご苦労をおかけした。小生も平林流を引き継いで、原稿のオファーと催促は広報部大住さんにお任せし、趣味の時間でも楽しむ心構えで編集に携わりたい。積極的かつ俊敏なるご投稿をお願いしたい。6月7日から2泊3日のあわただしい日程で、AJC(全国学習塾協同組合)主催の韓国学習塾視察ツアーに参加した。鈴木理事長と小生がAJCの役員を務めている関係で、鈴木さんともども参加した次第だ。今号で1ページ分のレポートを予定していたが、想定外の原稿の入りで押し出されてしまった。そこで当欄でダイジェスト版でレポートしたい。さて、韓国では塾を「学院」と称し全国で6万教室あるとされている。これにはいわゆる「習い事」も含まれ、日本で言うところの学習塾や英語塾に相当するのが文理系学院で、その数は約2万教室とか。今回の訪問では3つの学院を訪問する計画だったが、我々は1日早く帰国する正味2日間の滞在であったので2学院を見学することとなった。初日は生徒数6000人、ソウル市内の立派な自社ビルに教室を持つ高麗学院(VITAEDU学院)。VITAはビタミン、EDUはエデュケーションの意とか……。韓国の学院連合会の会長も勤める文会長以下、学院長ほか教職員20数名が整列してお迎え、横断幕には「歓迎・日本全国学習塾協同組合役員団」の文字。いやはや、その大仰さにはいささか戸惑ってしまった。文会長自ら一時間半にわたって、韓国学院業界の現状と問題点をレクチャーされ

た。この学院の時間割を見て驚いた。朝7時開始の浪人生向けの講座から始まり、夜間11時に終わる高校生向け授業までびっしりのスケジュールだ。それはまるで昼夜慣行フル操業の工場のように、こんなところにもお国柄が感じられた。

2日目に訪問したのは生徒数3万名規模の英語専門塾CDIN。小学生から高校生を対象に全国にフラインチャイズ網を展開している。ネット配信eラーニング、さらにはカナダで合宿施設を運営するなど幅広い事業を行なっている。見学したソウル市内木洞の教室は、テナントビル2フロアを占拠する大型教室で、在籍生徒数2千名とか。英語単科中学生週2回各3時間で授業料25,000円とのこと。これは韓国の物価水準で換算すれば35,000円程度に相当か。ともかくも随分と割高な授業料で上流家庭の子弟が対象かとも思われるが、一教室2千名の生徒が集められるとすれば、はてはて？？ 韓国は現在、経済も教育の分野もバブル飽和状態。学歴主義と金権主義、これに拍車をかける競争主義、異常な学習熱で国中がうなされているような印象をうけた。明日のための貯蓄よりもまずは子供の教育、というのが韓国社会の常識のようだ。かつて我々を困惑させた「過度な塾通い」という表現は、これを言うのだと納得した。現地ガイドの話では、塾に通える者と通えぬ者、勉強ができる者とできぬ者、極端な二極化が顕著に進んでいるとのこと。我々が垣間見たものはその一方の極に属するものであり、片方の状況は想像するに余りあると言える。塾をとりまく民間教育の現場に熱気や活況は感ずるものの、教育の本質から少々逸脱した、企業利益追求を第一とした、産業としての塾の現場が透けて見えた。「マスプロダクトはあるが、マスエデュケートはあってはならない。」私塾ネットの先達、故西川四郎先生の言葉をふと思い浮かべたソウルでの経験であった。

賛助会員一覧(順不同)

| | |
|-----------------------|--------------|
| 関東国際高等学校 | 村山 カドヲ先生 |
| 東京都渋谷区本町3-2-2 | 03-3376-2244 |
| 江戸川学園取手中学高等学校 | 竹澤 賢司先生 |
| 茨城県取手市西1-37-1 | 0297-74-8771 |
| 十文字中学高等学校 | 卯木 幸男先生 |
| 東京都豊島区北大塚1-10-33 | 03-3918-0511 |
| 東洋高等学校 | 野間 一夫先生 |
| 東京都千代田区三崎町1-4-16 | 03-3291-3824 |
| 桜丘中学高等学校 | 品田 健先生 |
| 東京都北区滝野川1-51-12 | 03-3910-6161 |
| 聖徳大学附属中高等学校 | 川並 芳純先生 |
| 千葉県松戸市秋山600 | 047-392-8111 |
| 麹町学園女子中高等学校 | 伊藤 暁先生 |
| 東京都千代田区麹町3-8 | 03-3263-3014 |
| 春日部共栄中学 | 宇野 禎弘先生 |
| 埼玉県春日部市上大増新田213 | 048-737-7611 |
| 大成高等学校 | 森 保先生 |
| 東京都三鷹市上連雀6-7-5 | 0422-43-3196 |
| 東京学園高等学校 | 須藤 勉先生 |
| 東京都目黒区下目黒6-12-25 | 03-3711-6641 |
| 東京立正中学高等学校 | 藤井 教戒先生 |
| 東京都杉並区堀ノ内2-41-15 | 03-3312-1111 |
| 八雲学園中学高等学校 | 横山 孝治先生 |
| 東京都目黒区八雲 2-14-1 | 03-3717-1196 |
| 関東第一高等学校 | 副田 康孝先生 |
| 東京都江戸川区松島2-10-11 | 03-3653-1541 |
| 武蔵野中学高等学校 | 丹野 秀彦先生 |
| 東京都北区西ヶ原4-56-20 | 03-3910-0151 |
| 神田女学園中学高等学校 | 齋藤 元治先生 |
| 東京都千代田区猿楽町2-3-6 | 03-3291-2447 |
| 和洋国府台女子中学高等学校 | 太田 陽太郎先生 |
| 千葉県市川市国分4-20-1 | 047-371-1120 |
| 東京文化中学高等学校 | 上前 善勝先生 |
| 東京都中野区本町6-38-1 | 03-3381-0196 |
| 文京学院大学女子中学高等学校 | 水上 茂先生 |
| 東京都文京区本駒込6-18-3 | 03-3946-5301 |
| 京北学園中学高等学校 | 実方 隆志先生 |
| 東京都文京区白山5-28-25 | 03-3941-6253 |
| 大森学園高等学校 | 河嶋 正先生 |
| 東京都大田区大森3-2-12 | 03-3762-7336 |

| | |
|-------------------------|--------------|
| 東京成徳大学中学高等学校 | 増澤 文徳先生 |
| 東京都北区豊島8-26-9 | 03-3911-2786 |
| 日本工業大学駒場中学高等学校 | 河村 文夫先生 |
| 東京都目黒区駒場1-35-32 | 03-3467-2130 |
| 青稜中学高等学校 | 多々良明典先生 |
| 東京都品川区二葉1-6-6 | 03-3782-1502 |
| 東京女子学園 | 実吉 幹夫先生 |
| 東京都港区芝4-1-30 | 03-3451-6523 |
| 駒込中学高等学校 | 河合 孝允先生 |
| 東京都文京区千駄木5-6-25 | 03-3828-4141 |
| 爱国中学高等学校 | 高橋 英夫先生 |
| 東京都江戸川区西小岩5-7-1 | 03-3658-4111 |
| 日本橋女学館中学高等学校 | 羽田野 敦先生 |
| 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6 | 03-3662-2507 |
| 安田学園中学高等学校 | 福谷 隆芳先生 |
| 東京都墨田区横綱2-2-25 | 03-3624-2666 |
| 多摩大学目黒中学高等学校 | 福本 明男先生 |
| 東京都目黒区下目黒4-10-24 | 03-3714-2661 |
| 科学技術学園高等学校 | 高塚 聡先生 |
| 東京都世田谷区成城1-11-1 | 03-5494-7711 |
| 日本音楽高等学校 | 中野 道代先生 |
| 東京都品川区豊町2-16-12 | 03-3786-1711 |
| 立正中学高等学校 | 今田 正利先生 |
| 東京都品川区大崎4-2-16 | 03-3492-4416 |
| 上野学園中学高等学校 | 高橋 公美子先生 |
| 東京都台東区東上野4-24-12 | 03-3842-1021 |
| 二松学舎大学付属高等学校 | 木村 誠次先生 |
| 東京都千代田区九段南2-1-32 | 03-3261-9288 |
| 村田女子高等学校 | 武 雅祐先生 |
| 村田学園小石川女子中学校 | |
| 東京都文京区本駒込2-29-1 | 03-5940-4187 |
| (株)パイロットコーポレーション | 辻 豊様 |
| 東京都中央区京橋2-6-21 | 03-3538-3782 |
| (株)教育企画ティーファイブ | 山田 孝幸様 |
| 東京都品川区北品川1-22-17-104 | 03-5479-7061 |
| (株)創開コミュニティー | 小林 和光様 |
| 千葉県柏市柏2-7-22-202 | 04-7164-6511 |
| ギガビジョン株式会社 | 櫻井 淳二様 |
| 東京都千代田区九段北1-4-5 | 03-3237-5861 |